

雑草防除のススメ

かねつぐ

雑草管理は初期防除が肝心

水稲用初期除草剤

かねつぐ[®] 1キロ粒剤

かねつぐはBASF社の登録商標

- 多年生雑草にも有効
- 田植同時もできる初期剤
- 効果と経済性のグッドバランス

一年生から
多年生まで
つうしんで
除草を承ります

	ホタルイ 螢 蘭		ノビエ 野 稗
	ウリカワ 瓜 皮		アゼナ 畔 菜
	コナギ 小 水 葱		ヘラオモダカ 篋 面 高
	オモダカ 沢 瀉		クログワイ 黒 慈 姑
			ミスガヤツリ 水 蚊 張 吊
			クサネム 草 合 歡



水稲用初期除草剤

かねつぐ® 1キロ粒剤

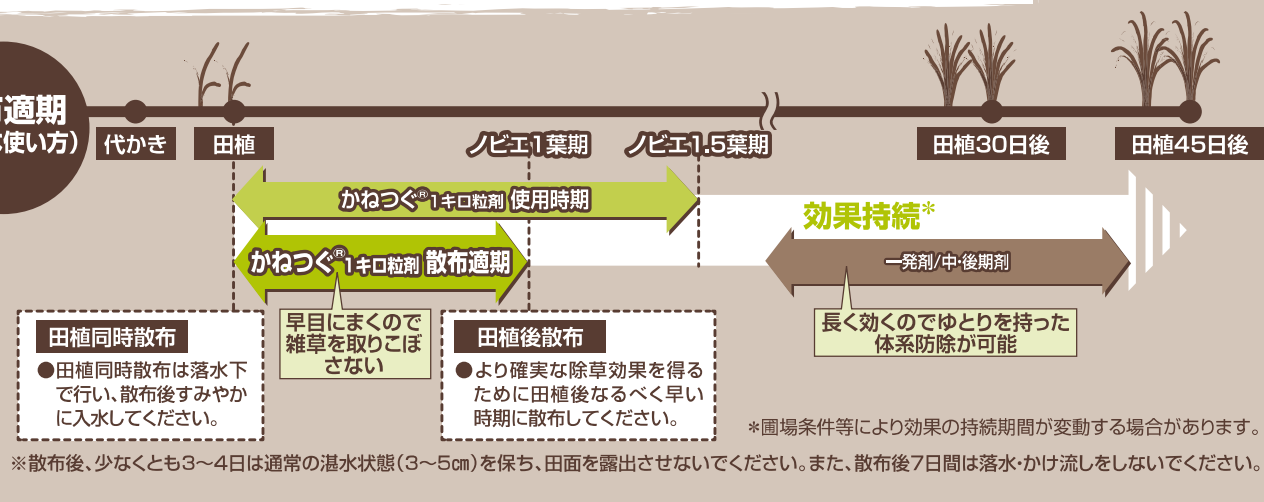
農林水産省登録
第23327号

- 有効成分：シクロスルファミロン.....0.40%
プレチラクロール.....4.0%
- 毒物及び劇物取締法：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）



田植同時散布など雑草発生前の散布がお勧めです

散布適期 (上手な使い方)



適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量 (10a当り)	本剤の 使用回数	使用方法	シクロスルファミロンを含む農薬の 総使用回数	プレチラクロールを含む農薬の 総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ クログワイ オモダカ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回	田植同時散布機 で施用	2回以内	2回以内
		移植直後～ ノビエ1.5葉期 但し、 移植後30日まで			湛水散布		

安全使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 雑草の発生前からノビエの1.5葉期まで有効ですが、時期を失しないように出来るだけ早めに散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフシが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワは発生始まで、ヒルムシロ、オモダカ、クログワイは発生前が本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイの防除に当たっては、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前に有効なので、散布適期を失しないように使用してください。また、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるよう、代かき、均平化及び補付作業はていねいに行ってください。ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除き、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 田植え同時期に施用する場合は、通常の移植作業と同様に落水下で田植えと施用を行い、施用後に入水してください。また、入水後の散布については、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布してください。処理後は通常の湛水状態（水深3～5cm程度）を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。
- 散布直後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 以下のような条件下では、葉害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。特にこれらの水田条件と散布日または散布数日以内の梅雨明けなどによる異常高温が重なると、初期生育の抑制が顕著になるので注意してください。
 - ・砂質土壌の水田や漏水の大きな水田（減水深2cm/日以上）。
 - ・軟弱徒長苗を移植した水田。
 - ・極端な浅植えをした水田や浮き苗の多い水田および極端な深植えをした水田。
- れんこん、くわい、いくさ、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤を無人航空機による湛水散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から適切な距離を離して圃場内に散布してください。
 - 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
 - 散布終了後は次の事項を守ってください。
 - 1) 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
 - 2) 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管してください。
 - 3) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2025年6月の知見に基づいて作成されています。